



伝染性紅斑（通称：りんご病）春から夏に増加傾向

伝染性紅斑は、子どもの両ほおがりんごのように赤くなることから、「りんご病」と呼ばれています。例年、春から夏にかけて患者数が増加し、5～9歳での発生が最も多いですが、大人でもかかる感染症です。

大人が感染すると、ほおの紅斑の頻度は低く、関節痛や頭痛など子どもとは異なる症状を示します。妊婦が感染すると流産のおそれがありますので注意が必要です。

特別な治療はなく、ワクチンによる予防法もありませんが、妊娠中の方は、流行時期に感冒様症状の人に近づくことを避けましょう。

【りんご病の症状】



◀ 顔の場合
りんご病のウイルスに感染すると、両側のほおがりんごのように赤い斑点が出現する



▶ 腕の場合
ほおに紅斑が発症してから数日後、腕や太ももなどにレース網模様の紅斑が現れる

ジカウイルス感染症（ジカ熱）について

—妊婦および妊娠の可能性のある方はご注意ください。—

中南米を中心にジカウイルス感染が報告されています。ジカウイルス感染症は蚊が媒介する感染症で、基本的に感染したヒトから他のヒトに直接感染するような病気ではありません。

日本で感染した症例はありませんが、海外の流行地で感染し、国内でも帰国後に発症した例が見つっています。海外の流行地へ旅行される際は、肌をできるだけ露出せず、虫よけスプレーを使用する等、蚊に刺されないよう注意してください。

感染しても、症状がないか、軽度の発熱、頭痛、関節痛など比較的軽微な症状は軽く、特別な治療を必要としません。しかし、妊娠中のジカウイルス感染と胎児の小頭症に関連が示唆されていることから、妊婦の方の流行地への渡航には注意が必要です。



夜間エイズ・肝炎検査を実施します！



HIV 感染を早く見つけて適切な治療を行えば、エイズの発症を抑えることができます。当センターでは、早期発見・早期治療につなげるために、HIV 検査普及週間にあわせて相談・検査を実施します。

日 時 平成 28 年 6 月 2 日（木）17:00～19:30 場 所 若狭健康福祉センター
内 容 相談・血液検査 予約は不要です ☆無料・匿名で受けられます

福井県感染症発生動向調査速報

（第 14 週 H28 年 4 月 4 日～第 17 週 H28 年 5 月 1 日）

- 2 類:結核 9 名 (0 名)
- 3 類:腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (0 名)
- 4 類:レジオネラ症 1 名 (0 名) A 型肝炎 1 名(0 名)
- 5 類:侵襲性肺炎球菌感染症 2 名(1 名)、梅毒 1 名(0 名)
- 播種性クリプトコックス 1 名(0 名) 急性脳炎 1 名(0 名)
- アメーバ赤痢 1 名(0 名)破傷風 1 名(0 名) *()内は若狭管内

【発信者】 若狭健康福祉センター
地域保健課 上良・宮下
TEL : 0770-52-1300
FAX: 0770-52-1058
メール : w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
※こちらのチラシは当センターホームページからダウンロードできます。